

# 『めがねのまち鯖江』元気再生事業 ~「作るだけの産地」から「売れるものを創って売る産地」へ~ 第3回sabaeサングラス・デザインコンペティション 認定作品が決定!

今年の流行は  
コレだ!!

ファッションを切り口に、眼鏡メーカーにおけるデザイン力やトレンド感の向上をテーマに取り組んできた「sabaeサングラス・デザインコンペティション」。

3回目を迎えた今回は、老舗セレクトショップの「SHIPS」のバイヤーと、人気メンズファッション誌MEN'S CLUBの編集長がコンペのテーマ設定と審査を担当し、去る2月7日に審査会を開催。産地内12社から計18作品の応募があり、5作品が認定されました。

## 認定されるとこんな特典が!

- メンズファッション誌 MEN'S CLUB5月号（3月24日発売号）に作品を掲載、同抜刷版を制作し、販路で活用可能。
- 認定企業の中からSHIPSオリジナル製品の共同開発権を付与。開発した製品は、今春以降にSHIPS店頭で発売予定。

## トレンドセミナー



「sabaeサングラス・デザインコンペティション」に先駆け、商品開発の参考になるよう、SHIPSバイヤーの田中智氏、篠原渉氏そしてMEN'S CLUB 編集長 戸賀敬城氏をお招きし、ファッショントレンドに関するセミナーを開催しました。このセミナーは、広く最新の流行に関する内容はもとより、SHIPSが考える「売れるアイテム」を紹介。眼鏡関係者だけでなく、漆器や繊維の関係者も今年の売れ筋情報に興味津々でした。

テーマ①&②

### ジャケットスタイルに映える眼鏡 & ミラネーゼのようなカジュアルスタイルに最適な一本

TURNING

(有)谷口眼鏡



落ち着いた雰囲気を出す大人のクラシックフレーム。鼻に掛かる部分は職人によるヤスリ掛けで丸味を付け、テンプル芯金には、ペータチタンとチタンを用い、しなやかな掛け心地とフィッティングのしやすさを実現。

JD-718

マイスドロートーキー



無駄な装飾・小細工がなくシンプルで実用的なメガネで、丁寧なモノ作りとスマートな印象を表現できるようなデザイン。厚み3.5ミリの生地でテンプルの芯金はペータチタンを用い、カシメ丁番を使用している。

テーマ③

### 伝統的な眼鏡作りを取り入れたこだわりの眼鏡

歩 C-306

(株)マコト眼鏡



フロントをセルロイドにすることで、厚さ3.5ミリから4ミリを実現。従来から存在するレトロな枠が抱える無骨なイメージを払拭。ネオ・クラシックとしての斬新さをアピールすると共に、艶有り面と艶無し面が織りなす「光と影」を作品モチーフとしている。

金治郎作 MK-008

(株)NOVA



プラスチックフレーム一筋55年の経験と技術を最大限に活用し、手仕事にこだわったセルロイドフレーム。丸い部分はより柔らかく表現し、直線部はより直角に、メリハリのあるラインを表現。内側に銀製の飾りと表面に丸鋳を使い高級感を演出。

テーマ⑤

### 環境へ配慮した素材、つくりのアイウェア

JAPONISM

(株)ポストクラブ



良いものと長く付き合うことで生まれる心の豊かさ「GOOD THINGS FOR LONGTIME」が基本コンセプト。車のブレーキパッドのように、消耗した一部パーツのみを交換することができる新構造のスクリュースヒンジ。そして、脱着可能な鼻パッドが最大の特徴。

テーマ④「鯖江ならではの最新技術で作られたアイウェア」、テーマ⑥「自転車を中心としたスポーツ用のアイウェア」については該当なし。

#### めがねパーツ名称



# デザインコンペティション講評

## 『デザイン性の追求を！』

審査終了後、審査員の3人からは『個性的な作品が多かったが、洋服のコーディネートに合う眼鏡が少なかった』『技術的にすごいことは理解できるが、流行と技術のバランスが悪いものも見受けられた』『もう少し流行に合う形を意識し、デザイン性をもっと伸ばしてほしい』等の講評がありました。



審査会の様子



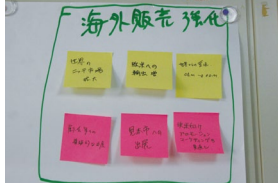
## モデルの梨花さんと めがね産地鯖江のコラボが実現!!

産地企業のファッション感性の向上等をテーマに、人気モデルの梨花さんとファッショングラスの共同開発に平成22年11月より取り組んできました。その結果、梨花さんデザインの鯖江製アイウェアブランド「piaupiau (ピュピュ)」として、6型計13アイテムが2月8日に発売されました。全製品に産地鯖江を表す"sabae"のロゴが刻印されているほか、梨花さんには、ブログ等を通じ鯖江製の良さをPRしていただいています。  
※梨花さん公式オンラインショップRinkaroom  
(<http://smooch.jp/rinkaroom/piaupiau/>)にて購入できます!

## 産地を変える!!

## 今、眼鏡業界の若手が燃えている!!

### 自主勉強会組織SBW (Sabae Brand Working group) 結成



OEM<sup>\*</sup>を主軸としてきたことでブランド力が不足する鯖江産地。近年では中国等の台頭により、受注量・単価ともに下落が続く中、産地は大変厳しい状況におかれています。

これらの状況から脱するには「産地のブランド化」を見据えた抜本的かつ、戦略的な取り組みが必要だと、若手が立ち上がりました。こうして鯖江産地のブランド化を考える産地初の勉強会組織“SBW”が有志12人により発足しました。 ※他社ブランドの製品を受託製造すること



発起人代表  
ポストクラブ  
小松原一身社長

昨秋、眼鏡業界の若手経営者12人で、産地の将来を考える自主的な勉強会組織SBWを結成しました。メンバーは、メーカー、部品加工、レンズ、商社等の30~50歳代前半の経営者たちです。いずれも産地の現状に危機感を覚える一方、5年、10年先を見据えて戦略的かつ、産地一体となって産地振興に取り組みれば、まだまだ産地としての未来はあると考えています。

今年度は、市と(財)中小企業総合研究機構に支援いただき、ブランディング、マーケティング等の第一線で活躍中の6人を講師に迎え、5回にわたり産地のブランド化を視野に入れた基礎的な勉強会してきました。企業の戦略作りにも役立つ内容で、回を重ねるごとに一歩一歩自らの力になっていると感じています。

ここ鯖江には、1世紀余のめがね作りの歴史と伝統、日本人ならではの品質重視の感性が息づいています。今後は、これらを武器に「量から質」を明確に打ち出すとともに、高品質産地として戦略的にブランド化を図れば、時計のスイス・バーゼルのような産地作りも決して夢ではないと考えています。SBWをきっかけに、産地鯖江が変わったと言えるよう意気込んでいます。

### 「めがねのまち鯖江」元気再生協議会

構成員：鯖江商工会議所 (社)福井県眼鏡協会 (協)鯖江市繊維協会 越前漆器協同組合 鯖江市  
問合先：商工政策課 ☎53-2231